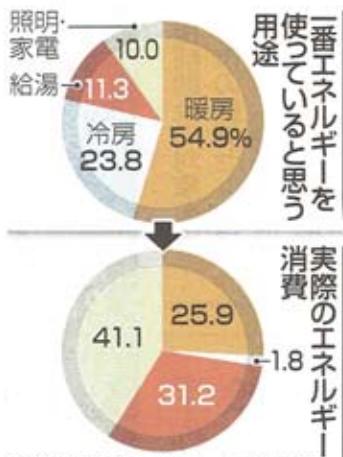


# ゼロエネ住宅を考える

住宅の中では、暖冷房や給湯、こんろ、照明・家電など、多くの用途でエネルギーが使われています。どの用途にエネルギーをたくさん使っているのが分かれば、無駄なく効果的に省エネができますね。

多くの人は、「暖房」や「冷房」といった季節物の用途に一番エネルギーを使っていると思い込んでいます。しかし実際には、「給湯」や「照明・家電」といった、1年を通して使われる用途の方が、ずっとたくさんエネルギーを使っているのです。

## 【2】 節湯シャワーで省エネ



※筆者研究室アンケートおよび住環境計画研究所調査による

す。するとその増えた分の5千円が目につき、冷房は大量の電気を使っていると思いつ込んでしまいます。一方で、毎月払っているベ

スの電気代1万円にはあまり意識が行きません。人間の認識は変化に敏感な一方で、安定には鈍感なのです。

効果的な省エネのために

は、年間を通じてコンスタントに使われる「給湯」や「照明・家電」の対策が不可欠です。できれば一度対策を取れば、効果がずっと続く方法がベストです。

一番おすすめなのは、シャワーヘッドの交換です。

シャワーを10分間出していると、ガス代約40円のほかに、上下水道代が同じく約40円かかります。節湯はエネルギーと水の節約にもつながり、まさに一石二鳥。DIYショップに行けば、さまざまな節湯型シャワーヘッドが販売されており、交換も簡単です。

照明にエネルギー効率が低い白熱灯を使っている場合は、すぐに発光ダイオード(LED)に変更します。冷蔵庫も古い機種は効率が低いので、新しい機種への買い替えが効果的です。(東大准教授・前真之)